

21世紀ひょうご市民学会 会報

31号

2016年2月15日

—編集・発行—

21世紀ひょうご市民学会

「神戸生活創造センター」登録番号 630

代表 澤木昌典

<http://www.hyogo21ctzn.com>



年が明けると、寒波が襲来、バスの横転事故で多数の犠牲者が出るなど、今年もいろいろありそうな予感です。

3月、足立先生による「仏教と経済について ～私の歩んできた途を振り返りつつ～」の講演があります。多数のご参加をお待ちしています（どなたでもご参加いただけます。無料）。

❖知的サロンを開催しました

- 第40回（2015年10月）「奈良の寺」
- 見学会（2015年11月）「浄瑠璃寺・秋篠寺」
- 第41回（2015年12月）「東播地方の方言」
- 第42回（2016年2月）「私と少年野球」



浄瑠璃寺参道（奈良のお寺見学会で10/22撮影）

❖研究会を開催しました

第1回（2015年9月）

「生きる力」テーマごとに短くまとめたリポートを作成することになりました。

お知らせ

来る3月10日、講演会を開催します・・・

演 題：仏教と経済について ～私の歩んできた途を振り返りつつ～

（概要）経済成長によって私たちの生活は豊かになって来たが、他方で資源の浪費、環境破壊、富や所得の格差を生み出している。限りない人間の欲望を経済成長によって満たすことはできず、今や「足ることを知る」という仏教的精神にもとづき、最少資源で最大幸福を得ることを目的とし、また自利だけでなく利他を目的とするような経済の構築が求められている。具体例を取り上げながらこの問題を考える。

講 師：神戸大学名誉教授 足立英之氏

日 時：平成28年3月10日（木）13:30～15:30

場 所：神戸生活創造センター5階 セミナー室B

どなたでもご参加いただけます。無料。

第41回 知的サロン

「東播地方の方言」

平成27年12月10日(木)
於:シーパル須磨「赤燈台」
小林 東生氏



小林 東生氏

野道を登下校する子らの話がスマートになり方言は影を潜めてきた。しかし揉め事では乱暴で粗野なものが飛び出すから、童らはいろいろ知っていることが分かる。

村の集会に来るのは中・高年者が多くなった。休憩時等には様々な方言で交流し、親密

感・連帯意識を確認し安心感を抱いている。

何時の頃からか少しずつ方言が減り始め、しかも良いものが使われなくなっている。

古里の方言の心や力を考えたい。

[研究方法]

- 1 古里を中心として方言の収集と分類
- 2 古里の方言の変化 同輩・知人・同族者からの聴取
 - ア 昭和15年(1940)頃までは新入語はほとんどない
 - イ 昭和16年(1941)以後、軍需工場と徴用工等の増加。終戦後2~3年間影響する

- ウ 昭和19年(1944)秋頃から疎開人口の増加。戦後4~5年続く
 - エ 昭和20年(1945)に入り、主として都会からの食糧購入者増加。昭和24年(1949)頃まで続く
 - オ 終戦後から昭和24年(1949)頃まで主として魚類・乾物の行商人が流入
 - カ 工業団地が近郊に多数出現。産業人が流入。周辺に道路網・高速道路
 - キ 昭和45年(1970)頃からの視聴機器の普及により多大の文化の流入。特に映像文化の拡散で言語は大きな影響を受ける
- 3 方言の純粋性 混和性 混同性 派生性を考える。

私の里でよく使われる「なんどいや」。田舎には「なんど」という土間があります。野良仕事で昼には帰ってきて、土足のままその場の長机、長椅子にかけて食事やよもやま話をします。これから、「なんど」で何かを相談する時にちょっと集まってくれというと「何どいや」というようになります。

第42回 知的サロン

「私と少年野球」

平成28年2月11日(木)
於:神戸生活創造センター5階
ミーティングブース No.4
話題提供:伊藤 真平氏

私が少年野球とかかわり始めたのは終戦の時だからおよそ70年前のことになります。その頃は道具もボールもなく、自分達で作ったラムネ球を芯にしてボロぎれなどを入れた綿球という手製のボールで遊んでいました。バットは竹やぶで切って来た竹のバットでした。それでも打つと硬球のように「コーン」という音がしました。それで夕方暗くなるまで畠の上を走ったりして夢中でやっていました。

やがて校庭を芋畑から改造した新制中学へ進み、ようやく軟式野球にありつけましたが、当時のボールはゴムが悪くて使っているとお餅のようにふくれたりして変形しました(大阪府の枚方でのことです)。

そんな調子だったので高校へ入る時も野球の強い所と思って、当時大阪の「十三」の焼野原にあった「北野高校」へ入り、枚方から一人通いました。当時、北



少年野球チームと伊藤氏(後列左から3番目)

野は第21回全国選抜野球大会で芦屋高校を破って全国優勝をしていました。



伊藤 真平氏

だから先輩達の鼻息は荒く、全く軍隊的に仕込まれました。1年生の間はほとんど野球ではなく、ボール拾いと縫いといったことが役目でした。しかし後になってみると、このみじめというべき下積み時代が人生の大きな力となったと思われま

す。さて今やっている少年野球のコーチですが、自分の子供

が小学生の頃このチームに入り、「お父さんも野球出来るのならコーチが少ないので一緒に入ってこれ」とのことで手伝うことにしたのです。昭和50年(1975年)のことでした。今から41年ほど前です。

どんなことをするかと言えば、小学校の運動場を使って、バックネットを張り、グラウンドにラインを引いて野球場を作ります(子供達も一緒にやります)。ここで軟式野球をするわけですが(ボールはA、B、Cとあって小学生はCです)。次は皆でグラウンドを走り「準備体操」。次に「キャッチボール」。その時お互いに大きな声を出させるようにします。元気を続けさせるため、次は「トス、バッティング」。勿論その前にバットの素振りをします。それが済めば「フリーバッティング」で、守りを位置につけて、誰かコーチの一人がピッチャーとなり一人ずつ何本かを打たせてやるのですが、時間がかかるのと一人に対し充分に

満足なまでは打たせてやれませんので守備に対して打撃は少し稽古不足をいなめません。守備の練習は「シートノック」です。内・外野それぞれにコーチが打ちます。あとは「ベースランニング」となっています。子供達と野球をしていると、中々覚えてくれなくて手間もかかりますが、何しろ元気で寒さにも負けないので、こちらが元気を貰えることは確かです。今は私も80を越えて動きもにぶくなっておりませんが、「野球」と聞くと行って見たいのは今も変わりません。なるべくノックなどもやりたいのですが、他のコーチがちょうど自分の子供ぐらいの若さですので「僕達やりますから」とさせてくれないのが現状で、見に行くと「スコアブック」(試合の記録簿)をつけてやるのが仕事のような感じです。でも仲間に入れてくれている内は頑張りたいと考えております。

【質疑】

Q1 少年野球を教える時のモットーは何ですか。

A1: 礼儀正しく、俊敏に

Q2 野球をしていて一番うれしかったことは。

A2: 社内に野球チームを作ろうと呼びかけ、チームが6つできたこと。



キャッチボールの様子

第40回 知的サロン 「 奈良 の 寺 」

平成27年10月8日(木)
於:神戸生活創造センター5階
ミーティングブース No.2
案内:松原 宏治氏



松原 宏治氏

538年(宣化天皇3年)百済の聖明王から釈迦仏像と仏具・経が朝廷に贈られ、仏教が我が国に公伝された(552年とする説もある)。588年(崇峻天皇元年)蘇我馬子が飛鳥に法興寺(飛鳥寺)の建立をはじめ、我が国で初めての本格的な仏教寺院を完成

した(596年推古4年)。法興寺はのちに平城京に移転し、元興寺と名前を変えた。

現在、奈良県には1837の寺院(2009年)があるが、これらのうち国宝建造物として64件が指定されている。また国宝彫刻(仏像)は71件に上る。いずれ

も我が国で最多の1位である。2位は京都府で、国宝建造物は50件、国宝彫刻(仏像)は37件である。京都は応仁の乱など度重なる戦火により文化財が焼失したことが大きい。

旧法「古社寺保存法」(1897年、明治30年)により「国宝」とされていたもの(宝物類、建造物)が文化財保護法(1950年、昭和25年)の制定により、すべて「重要文化財」とされそのなかから、改めて国が指定した有形文化財(重要文化財)のうち「世界文化の見地から価値の高位たぐいなき国民の宝」足るものであるとして「国」(文部科学大臣)が指定したものを国宝と言ひ、建造物、絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書、考古資料、歴史資料に区分された(1951年)。

奈良県内には世界遺産登録されたものが3件ある。

1. 法隆寺地域の仏教建造物(斑鳩町)法隆寺、法起寺。
2. 古都奈良の文化財(奈良市)平城宮跡、東大寺、興福寺、唐招提寺、春日神社、薬師寺、元興寺春日山原生林。
3. 紀伊山地の霊場と参詣道(和歌山県、三重県、奈良県の3県にまたがる)。

奈良の代表的なお寺をあげると『奈良市街』では、東大寺、興福寺、元興寺、十輪院、福地院、新薬師寺、白毫寺、大安寺、頭塔。『佐紀・佐保路』では、幸福院、不退寺、法華寺、西大寺、秋篠寺。『西ノ京』では、薬師寺、唐招提寺。『斑鳩』では、法隆寺、中宮寺、法輪寺、法起寺。『飛鳥・当麻』では、飛鳥寺、岡

寺、橘寺、安倍文殊院、聖林寺、石位寺、当麻寺。『長谷・室生』では、長谷寺、室生寺。『柳生街道・南山城』では、円成寺、浄瑠璃寺、岩船寺、蟹満寺。

【参考文献】

- ・新全国寺社・仏像ガイド:美術出版社 2006年3月10日
- ・大和路のみ仏たち～奈良三十三か寺めぐり～:大橋一章、森野勝 グラフ社 平成21年6月10日
- ・奈良県の歴史散歩(上奈良北部):奈良県高等学校教科等研究会歴史部会 山川出版社 2007年6月20日

奈良の寺 見学会 (12月22日)

浄瑠璃寺 ・ 秋篠寺

10月22日知的サロンで、松原さんが調べてくださった奈良の寺について勉強。そして、たくさんあるお寺の中から浄瑠璃寺と秋篠寺に行くことに決めました。



11月19日(木曜日)JR奈良駅に集合。
1day pass (500円)を購入
浄瑠璃寺行きのバスに乗る。

事前に小林さんから、堀辰雄「大和路・信濃路」に、浄瑠璃寺・秋篠寺の文があると連絡があり、松原さんがプリントしてくださった。浄瑠璃寺・秋篠寺の資料を共に読みながら浄瑠璃寺着。参道沿いの(あ志び乃)というお店でお蕎麦をいただく。



浄瑠璃寺見学(拝観料 700円)
池と三重塔をバックに記念撮影。



浄瑠璃寺本堂を背にして



秋篠寺で

その後本堂で、国宝九体阿弥陀如来像、子安地藏菩薩像、不動明王、四天王像を、他の団体の説明と一緒に聴きながら拝観。すぐ近くで観られる九体の仏さまは圧巻でした。三重塔、お庭をぐるっーと回り、拝観を終え、次の秋篠寺へむかいます。



JR奈良西口行きのバスで近鉄奈良駅前降り、西大寺行きのバスに乗り換え、西大寺駅から押熊行バスで秋篠寺着。(拝観料 500円)

広い境内に静かな佇まいの素朴な感じの本堂でした。25体の仏像の中でも特に著名な伎芸天の優雅なお姿を拝見してきました。



西大寺駅行きのバスで近鉄西大寺駅へ。

神戸に帰ってきました。(橋本昌子)



あとがき

21世紀ひょうご市民学会 ホームページ <http://www.hyogo21ctzn.com> をどうぞご覧下さい。ホーム(最新情報・お知らせなど)、活動内容、知的サロン、研究会、会報、入会案内など詳細が掲載されています。